

平井秀明オペラ合唱団

略称:H2O合唱団

団からのお知らせ 2016年7月5日号

H2O合唱団事務局

今は「白狐」！

●サマーコンサート、オペラ「白狐」9月4日五浦公演、11月15日東京公演と当面はオペラ「白狐」を集中的に練習しています。そこで、新入団員の方もおられることから、オペラ「白狐」について情報を。

今回は初演からの写真とともにオペラ「白狐」〈翻訳・台本・作曲：平井秀明／原作：岡倉覚三（天心）〉の「あらすじ」を紹介します。



《第1幕》阿倍野の国守・保名の許婚である姫・葛の葉を恋慕う魔導師・悪右衛門(あつけないもん)は、白狐コルハの持つ魔法の宝玉の力により葛の葉を我が物にしようと企み、狩人たち、猟犬、鷹を引き連れて狩りへと向かいます。悪右衛門がコルハを矢で射とめ、宝玉を奪おうとするところで保名が現れ、悪右衛門も思いを寄せる葛の葉の誕生日に殺生は慎むようにと諭され、止む無く断念して逃げ去ります。

保名は、九死に一生を得たコルハに宝玉を返し、「仏の慈悲を信じ、善行を積み、より高い転生を求めよ」と言い聞かせます。やがて、葛の葉の侍女たちが、姫様の誕生日の祝宴を飾るため、草花を摘みに集まって来ます。そこへ保名が登場し、葛の葉への愛を歌い、

葛の葉が保名へ愛の歌を返し、互いに愛をささやき、二人は幸せなひとときに浸ります。

保名と葛の葉が愛を語っていると、慌てふためく葛の葉の侍女たちが、悪右衛門により保名の城に火が放たれたことを告げ、保名たちは逃げようとしますが、瞬間に悪右衛門の軍勢に囲まれてしまいます。応戦の甲斐無く保名は傷を負い、葛の葉は悪右衛門に連れ去られ、保名の手の中には、葛の葉の袖だけが残ります。



《第2幕》童たちが登場し、こぎつねごっこをして遊び(※このシーンは岡倉天心の原作にはなく、平井秀明氏により創作されたものです)、続いて狐の妖精たちが狐の女王コルハの目覚めを待ち、歌い踊ります。妖精たちが去った後にコルハが登場し、葛の葉を奪われ自らも負傷し、悲嘆の中、森を彷徨い歩く保名の恩に報いるため、自らを葛の葉の姿に変身させてほしいと、月に懇願します。

葛の葉に変身したコルハの前に現れた保名は、コルハを葛の葉と信じ込み、コルハに案内され隠れ家へと向かいます。一方、悪右衛門とその兵士たちは、葛の葉に飲ませる愛の媚薬を作るため薬草を集めています。狐の妖精たちと共に戻ったコルハは、彼らに身を任すふりをして酒宴で歓待します。しかし、酔いが回った頃、悪右衛門と兵士たちは、魅惑的な女たちに断崖へと誘い出され、湖水に転落し、復讐劇が繰り広げられます。



《第3幕》観音堂の丘に建つ隠れ家で、コルハが機を織りながら赤ん坊に子守唄を歌っているところへ、巡礼の一行が現われ、施しを乞うてきます。コルハは施しを与え、巡礼の訳を尋ねると、その一行は葛の葉の従者であり、保名の帰りを祈り、寺から寺へと巡ってきたことを明かします。さらに、今日こそが最後の三十三番目のお寺に向かうところであり、望みの消えた葛の葉は、明日尼になる覚悟であると聞かされ驚きます。

巡礼たちが去り、そこへ戻った保名へ、コルハは苦しい気持ちを抑えて、その寺に居る女性に会いに行き、お守りと告げて渡すようにと、自分の袖を引き裂き、保名へ渡します。気が進まない保名は、コルハの重々しい言葉に驚き、

渋谷寺へと向かいます。



コルハは偽りの葛の葉の姿となり、保名と過ごした事への懺悔と、我が子への惜別の気持ちを独白し、我が子に魔法の宝玉を与えると、次第に魔力が衰え、コルハは狐の姿に戻り始めます。書き置きを残そうとしますが、手は狐の前足に変わり筆を持つことすら叶わず、口に咥えた筆で、懸命に壁に書き残そうとします。

巡礼たちの歌声が近づき、コルハは窓を飛び出し、森の中へと戻って行きます。不可思議な出来事で狐につままれた思いの保名は、葛の葉と巡礼たちと共に隠れ家へと戻り、壁の書き置きを読み、恩人の正体は保名がかつて助けた白狐だと悟り、余りの衝撃にひざまずき、祈りを捧げます。葛の葉はコルハの愛の犠牲に応じて子どもを抱き上げ、悲しみの中、幕が下ります。



【楽譜訂正のお知らせ】★オペラ『白狐』より“妖精たちの朝”（女声・混声合唱）の修正箇所

◎女声&混声両方：

m. 1 メトロノーム 72ca. → 60ca.

m. 69-72 もえる → もえよ x7カ所（女声）、x8カ所（混声）

◎女声：

m. 71-72 プレス記号を Sop. & Alto に追加

◎混声：

m. 71-72 プレス記号を Sop. & Alto、Ten & Bass に追加

m. 73 Meno mosso 追加

・2016年6月～12月の練習日程(予定) 太字は変更。種別に 自 とあるのは自主練習日

月	日	曜日	時間	練習会場	種別	備考
7月	5日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O	川崎地区練習(視聴覚室)
	19日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O	
8月	2日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O	川崎地区での練習(音楽室)
	16日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O	
	23日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O	サマーコンサート補充練習
	30日	火	18:30～21:00	伝承ホール	H ₂ O	サマーコンサート(16時集合)
9月	6日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O 自	川崎地区練習(視聴覚室)
	13日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O	川崎地区練習(視聴覚室)
	20日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O 自	
	27日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O	
10月	4日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O 自	川崎地区練習(視聴覚室)
	11日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O	川崎地区練習(視聴覚室)
	18日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O 自	場所は予定
	25日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O	
11月	1日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O	川崎地区練習(視聴覚室予定)
	8日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O	川崎地区練習(視聴覚室予定)
	13日	火	18:00～21:00	豊洲文化センター	H ₂ O	11/15のGP(17:00集合)
	15日	火	12:00～21:00	豊洲文化センター	H ₂ O	オペラ「白狐」東京公演
	29日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O	
12月	6日	火	18:45～20:50	中原市民館	H ₂ O	川崎地区練習(視聴覚室予定)
	20日	火	18:45～21:00	聖ヶ丘教会	H ₂ O	早めに切り上げて望年会

・ちょっと大ニュースPLUS! オペラ「かぐや姫」旭川公演2017年1月21日に決定!

豊島雄一先生が旭川での文化事業のコンペで獲得したオペラ「かぐや姫」旭川公演が、平井先生との日程調整を経て、2017年1月21日(土)に決定しました。

このため、2017年1月は7日(土)、オペラ「かぐや姫」Men's Classic(メンクラ)伝承ホール公演、13日(金)、14日(土)“平和の第九”ニューヨーク(国連本部総会議場、セントパトリック大聖堂)公演、21日(土)オペラ「かぐや姫」旭川公演と。すべて参加する人にとっては、怒濤の公演ラッシュの一月ですね。